１　特別の教育課程の概要

・ＧＳコースの設置

・「ＧＳ」を冠した科目の設置

①学問領域「ＧＳ」には、「ＧＳ国語探究」「ＧＳ世界史」など「ＧＳ」を冠した科目を開設し、次の※１にあげる科目を学校設定科目として代替する。

※１　数学Ⅰ→ＧＳ数学Ⅰ、物理基礎→ＧＳ物理Ⅰ、地学基礎→ＧＳ地学、情報Ⅰ→ＧＳ情報

②ＧＳコースにおいては、主に探究活動を行う「Advanced Research Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と、人文･社会科学･自然科学の各領域を総合的に学ぶ教科融合授業を扱う「Integrate Ⅰ」を開設し、次の※２にあげる科目を学校設定科目として代替する。

※２ 公共（1年ＧＳコース、1単位）→Advanced Research Ⅰ、家庭基礎（1年ＧＳコース、1単位）→Integrate　Ⅰ、情報Ⅰ・保健（2年ＧＳコース、各1単位）→Advanced Research Ⅱ

③総合的な探究の時間を「GS Research」とし、体系化された課題研究活動を通して「探究力」「分析力」「協働力」を養う（ＧＳコース生は「Advanced Research Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に組み込む）。また、大学や海外の学校との連携を通じて、「実践的な英語力」「プレゼンテーション力」を育成する取組も行う。

２　特別の教育課程を編成して教育を行う理由

滋賀県立彦根東高等学校は、国宝彦根城内に位置し、彦根藩の赤備えに由来する先駆者精神「赤鬼魂」を校是として、これまで長きにわたって地域の中核として、日本国内のみならず、世界で活躍する人材育成の重責を担ってきた。平成16 年からはスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定を受け、４期計18年にわたり、世界で活躍するための視野を持ち、リーダーシップを発揮し牽引していける科学技術系の人材育成を目指し取り組んできた。令和４年度より３年間、ＷＷＬ（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムにおけるカリキュラム開発拠点校の指定を受け、教科の枠を超えた学問領域の設定と、事業の中核を担うコースとして、 ＧＳコースを設置し、地域だけでなく滋賀県全体において、「Society5.0 に対応し、世界をリードするイノベーティブなグローバル人材を育成」する中心的な役割を果たしてきた。令和６年度よりＤＸハイスクール事業（基本類型）の指定を受け、これまでの事業で得た財産を生かし、先進的な知識とグローバルな視点、並びに「イノベーション力」を養い、これからの時代を担う人材育成を目指すために、ＧＳコースおよび「ＧＳ」を冠した科目を継続して設置する。

３　特別の教育課程の開始年度

２０２５年度